

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1191800232		
法人名	医療法人社団 愛優会		
事業所名	グループホーム草加原町		
所在地	草加市原町3丁目15-30		
自己評価作成日	平成28年2月10日	評価結果市町村受理日	平成28年5月2日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/11/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社シーサポート		
所在地	埼玉県さいたま市浦和区領家2-13-9		
訪問調査日	平成28年3月22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ●毎日のウォーキング及びトレッドミル実施 ●毎朝のフレッシュジュースの提供(果物や野菜は日替わり) ●おやつ時のプルーンジュース提供(便通を促し、鉄分を補うため)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ●「すべてのサービスはご利用者様のために」との、散歩やマシンを使用した運動・自然排便への支援・特製のジュースによる水分摂取の奨励等々「利用者の得」に対して様々な施策をもって運営を進めている。 ●地域包括支援センターの協力のもと認知症カフェを開催し、多くの地域の方々が来訪している。また社会福祉協議会とも連携が図られるなど、行政および関係機関との連携した運営がなされている。 ●手すり・洗面台・浴室など利用者が使いやすいよう細かな配慮が随所になされている。清潔が保たれ、広いスペースが確保されており、居心地よく過ごすための環境が整えられている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念は作っていません	法人として「すべてのサービスはご利用者様のために」との理念を掲げ、「利用者の得」に対して様々な施策をもって運営を進めている。職員同士が指導しあう環境整備を目指し取り組んでいる。	事業所独自の理念を職員と一緒につくることを検討しており、法人・管理者の考えが更に浸透する機会となることが期待される。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町会に加入し、認知症カフェや運営推進会議への参加呼びかけを『行ったり、町会の防災訓練へ、入居者と職員と一緒に参加している	地域には温かく迎え入れられ、防災訓練への参加・会館の利用等で交流がなされている。野菜をお裾分けいただいたり、散歩で声をかけたりと早くも暮らしの中での関係を築いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症カフェを開催し、その中で認知症サポート養成講座を開催し、近隣住民の方にも受講して頂いております		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は2回の実施となりましたが、事業内容報告や入居者様の様子などをお伝えし、意見交換をしております	地域包括支援センター・家族・自治会・民生委員の方々を招いての開催しており、事業の報告や意見交換がなされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議において、地域担当の安行地域包括支援センターの方へ、施設の運営状況や入居者の方の様子をお知らせさせて頂いております	地域包括支援センターの協力のもと認知症カフェを開催し、多くの地域の方々が来訪している。また社会福祉協議会とも連携が図られるなど、行政および関係機関との連携した運営がなされている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束となる禁止行為は認識していますが、玄関の施錠に関しては、安全性を考え施錠しております	利用者の安全と行動の自由のバランスを考慮した支援に取り組んでいる。新入職員に対しても日常の支援の中で指導に努めている。	身体拘束の廃止・接遇等の事業所内研修を来年度予定しており、多くの職員の参加と支援への反映が望まれる。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止内容については、職員へお知らせしておりますが、勉強会などはしていません		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護について、詳しくは内容を把握しておらず、今後は勉強会の実施も必要と考えられます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては内容を説明し、理解を図っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営に関しては、運営推進会議等の報告のみです	面会時を中心に管理者または職員に直接要望を話してもらえよう関係構築に努めている。また重要事項説明書には苦情相談窓口および外部の連絡先が記載されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議の実施において、報告や意見交換を行っている	引継ぎのノートやミーティングを利用して職員意見の聴取に努めている。ケアプラン更新時には書面により意見を集約している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアパス制度にもとずき、環境の整備を行っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の介護実績に応じ、研修への参加を薦めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括内において実施された、他事業者交流会において、交流をはかっている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の実調にて、ご本人と面談し困っていることや不安なことなどをお聞きし、サービス開始の事前準備に備えている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設見学及び入居時面談にて不安や要望をお聞きし、相談に応じている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居予定者の方の実調及びご家族様との面談にて総合的に判断したケア内容を提供するように心がけている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は入居者の一人として考えるのではなく、家族の一員として接するように心がけている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の、日頃のご様子とかを面会時にお話し、ご家族の要望や意見にそったケアを心がけている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居以前から続いている、同級生との食事会に参加されている入居者の方がいます	外泊や食事など家族や友人と過ごす時間も大事にしており、繋がりが保たれるよう支援している。関係継続がなされた入居の実現はホームおよび関係機関の尽力により実現している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日課としているウォーキングでは、入居者が目上の入居者の靴を履かせたり、手をつないで会話をしたりしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去時面談にて、継続的な相談等に応じることをお伝えしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の方のテーブル席等は、入居者の方と相談しながら決めている	日常の観察より利用者の意向把握に努めており、ミーティング時には職員間で得た情報を共有するよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	音楽好きな入居者の方同士で、ご自身の好きなCDを持ち合わせしながら音楽鑑賞を楽しまれている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録にて、入居者の様子や状態を記載。 半身麻痺の方の残存能力を生かすケアを行うように、職員の申し送りノートを活用及びケアの方法を直接指導している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者や家族の要望に応じたケアが行えるように、職員が面会時において話し合いを行い、職員からケアマネへ報告し、意見や要望に応じた介護計画を作成している	アセスメントの実施・職員からの意見聴取を通してケアプランの策定がなされている。計画作成担当者より変更点や方向性の説明を職員に行い、反映した支援となるよう努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録の記入と職員間での情報共有は実践している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者の状態によっては、日課のウォーキングへご家族の方と一緒にいることがあります		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設近隣のドラッグストアへ、入居者の希望する日用品を購入しに、職員同行にて行くことがあります		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科の往診医として、足立区の友愛病院から月2回の往診あり	協力病院や眼科の往診、かかりつけ医への受診を通して利用者の健康維持に努めている。法人全体として利用者の健康に資する取り組みを行っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホーム内の看護師はおりませんが、往診病院の看護師へ相談や問い合わせをすることがあります		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	往診医や往診病院には、常にご相談や問い合わせに応じて頂いている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現段階は、終末期に向けた事業所の方針や職員への研修は、準備段階です	ターミナル手順書や緊急搬送時の意思確認書が整えられている。終末期の支援に対して管理者・職員をそれぞれに向けた研修の開催を予定している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	心肺停止時などの急変時に向けて、AEDの講習を消防署で受講している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	施設内火災を想定した、避難訓練の実施を行った。災害時や地震を想定した地域の防災訓練へ参加をしている	火災想定による避難訓練が実施されている。町会からはホームの避難訓練への参加希望が表明されており、日頃の交流から心強い協力を得ている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	夜間就寝時、居室の鍵を閉めたいという入居者についてはプライバシー確保のため施錠を行っている。(巡視時は、外鍵で開錠している)	居室に鍵をかける利用者についても職員の見守りのもとプライバシーを尊重した支援がなされている。本評価に伴う家族アンケートからも管理者や職員の優しさへの感謝が綴られていた。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中で、ご本人が話しやすいように質問形式での声掛けをしたり、他入居者との談話等から話しやすい雰囲気作りを心掛けている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者のその日の身体状況に応じた対応や、入居前の過ごし方を参考にし、ご本人の希望にそえるようにするためのコミュニケーションを大切にしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴後の衣類や朝のお着替え時には、その日の気温や天候をお伝えし、ご本人と一緒に衣類準備を行っている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事メニューに、入居者の要望を取り入れることができ、食事前のテーブル拭きや下膳や片付け等は、職員と一緒にしている	食卓の中での手伝いには感謝の言葉をかけ、利用者が生活の中で張りを持てるよう意識している。流しそうめんや外食など工夫を凝らした取り組みも楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	野菜を多く取り入れたメニューとし、食事量や水分量を個人記録へ記入し、一日のトータル量がわかるようにしている。ご本人の状態に応じて、きざみ食やおかゆを提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアは、最初にご自身で歯磨きや入れ歯洗いを行って頂き、その後介助が必要な方は職員が介助し、清潔保持をしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	外出、食事、お昼寝、就寝前には必ず声掛けを行い、自力での排泄が困難な方には、職員が腹部マッサージや腹圧がかけられるような声掛けを行っている	毎日の野菜やプルーンジュースの摂取による自然排便・下剤廃止に対して法人・ホーム全体で注力した取り組みがなされている。またマッサージや温水洗浄便座を利用した支援にも努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝のフレッシュジュースや15時には毎日プルーンジュースや排便状況に応じて、バナナジュースを提供している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴の曜日は、施設の方で事前に決めさせて頂いておりますが、入居者の身体状況や、要望に応じた柔軟な対応をしている	湯船に浸かりゆったりと入浴を楽しめるよう職員配置を考慮している。安全な入浴となるよう管理者が指導に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者の要望に応じて、お昼寝や就寝前にCDをつける場合があります		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については、業務提携をしている薬局からの説明書を薬剤棚へファイリングし、服薬変更書は薬剤棚に掲示し、職員が見やすいようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ウォーキングでは、季節に応じた花や木を鑑賞出来るようにコースを変えたり、いつも同じ時間に散歩をしている近隣の犬と触れ合いを交えている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設内の外食で入居者の方とファミリーレストランへ出掛けたり、町会のご協力で会館を利用した新年会を実施している	歩数を意識した毎日の散歩、雨の日も歩行できるトレーニングマシンの設置等々利用者の活動的な生活を支援している。外食や季節の行事も計画して実施している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人のお小遣いで、日用品や嗜好品の買い物へ出掛けることがある		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の要望に応じ、ご家族様と電話をすることがあります		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ウォーキング中に採って来た、草花をテーブルの上に飾ったり、天気の良い日は居室及びフロアのこまめな空気の入替えを心掛けている	換気およびエアコンの使用により室内の衛生と温度が管理されている。清潔かつスペースが確保されたホームは手すり・洗面台・浴室など利用者が使いやすいよう細かな配慮が随所になされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日中はなるべく、フロアで過ごして頂けるように、お茶を飲む時やテレビを観る時など、皆で共有出来る時間作りにつとめている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前から大切にしているぬいぐるみを居室内に飾ったり、以前飼っていた猫の写真やご家族との写真を居室に飾っている	あらかじめホームで用意した家具を除き、飾りや写真をはじめ自由に私物が持参されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	目が不自由な入居者の方が、安全にトイレに行けるように、トイレの電気を常灯にし扉を開けたままにすることで、トイレの場所をわかりやすくしている		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所理念が作られていない為、どのような施設にするのかという、具体的な目標がない。	利用者が安心して暮らせるような、職員統一の目標を作る。	各職員から自身の理想とする施設とは、ということアンケートを実施。	6ヶ月
2	49	行事回数が少なく、日々の生活にめりはりがない。	普段の生活とは違う環境を提供する。	行事担当が責任をもって企画運営が出来るように担当振り分けを行った。 今後は、予定表に基づいた実施を行う。	12ヶ月
3	48	楽しみごとや気分転換の時間が少ない。	敷地内花壇の整備を行い、お花や野菜作りを通して植物とのふれあい時間を提供する。	花壇を近隣住民の方との共有地とし、利用者や職員が野菜作り等を行う上での指導をお願いした。	12ヶ月
4					ヶ月